

# あさがお通信

vol.7  
JAN. 2012

- 医療技術部掲示板  
リハビリテーション室／薬剤室／  
検査室／栄養室／放射線室
- 第2回 文化祭を開催！
- 地域交流日記⑧  
防災訓練を実施しました



新年明けましておめでとうございます。

台東区立台東病院・老人保健施設千束も3回目の新春を迎えました。開院以来、1年目は新病院をつつがなく立ち上げること、2年目は経営指標を少しでも改善すること、3年目は病院・施設で提供されるサービスの質の向上を目標に頑張ってきました。

新しい年を迎えて、今年は地域連携、地域の中での取り組みを大きなテーマにしています。病院・施設が地域社会の中で、より役立つためには何が出来るか？地域の皆さんに信頼され、より身近に感じていただくにはどのような工夫があるだろうか？もちろん病院・施設は困った時、すなわち病気になる時、タイムリーにお役に立てることが最優先課題です。そんな火急の時にまずは頼ってもらえる施設になれるよう、普段から垣



根のない関係を地域の皆さん、区内の医療・福祉関係者と培っておくことが重要だと考えています。

昨年の不幸な震災を乗り越えたものの、今年も引き続き日本全体にとって経済的にも決して予断を許さない、厳しい年になることが予想されます。どうやって限られた資源を最大限有効に活用して、地域の皆さんに安心・安全な医療・福祉サービスを提供するか。それには地域で暮らす皆さん、われわれ医療・福祉関係者、台東区、皆がそれぞれに知恵を出し合い、「コミュニケーション」を良くし、互いを思いやる気持ちを育むことが基本だと思っています。

「すべては地域のために」

今年も台東病院・老人保健施設千束は職員一丸となって頑張ります。

管理者・病院長 山田隆司

第2回文化祭を開催！

昨年11月7日～11日、2回目となる文化祭を開催いたしました。前年と同様に患者さんや利用者さんの作品を展示し、一部は被災地支援のためのチャリティーバザーを行いました。作品はさまざま、中には東京スカイツリーや隅田川花火大会を表したものもありました。また、新しい内容として、「医療安全の取り組み」についてポスター展示を行いました。普段私たち職員が気を付けていること、そのために皆さんにどのようなことをお願いしているのかを知っていただく良い機会になったのではないのでしょうか。さらに期間中にシャンソン歌手をお招きしてコンサートを開きました。懐かしの名曲の調べに思わず聞き入ってしまう場面も。

今年も開催を予定しておりますので、立ち寄られた際にはぜひご覧ください。



## 第2回文化祭を開催！



## 看護職員募集

高齢者に寄り添い、人生を物語る優しいスタッフを募集いたします。

あなたのライフワークバランスに配慮した勤務も可能です。  
ご相談・見学を随時実施中ですので、下記までお気軽にご連絡ください。

- 連絡先：  
台東区立台東病院  
副病院長 看護・介護部統括部長 川合 総務課 若林 まで
- 電話：03-3876-1001
- メールアドレス：taito@jadecom.or.jp

「あさがお通信」は院内の各部署が編集を担当していきます

今号は「医療技術部」が担当しました。

今回は、私たち医療技術部がどのような活動をしているのかという紹介やお知らせ等を「医療技術部掲示板」として掲載しました。この特集を通じて、皆さまに私たちのことを少しでも知っていただけたら幸いです。そして、気になることや知りたいことがございましたら、どうぞお気軽に声をかけてください。

台東病院・老健千束は「公益社団法人地域医療振興協会」の管理運営施設です。  
地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に開設され、2009年12月1日より公益社団法人として新たにスタートしました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

## あさがお通信

発行元：台東区立台東病院・台東区立老人保健施設 千束  
〒111-0031 東京都台東区千束3丁目20番5号 / TEL 03-3876-1001

地域公開行事予定

**ミニコンサート (13:30 ~ 14:00)**  
1月26日(木) ピアノ・バイオリンコンサート  
2月29日(水) アコースティックギターデュオ  
倉前太郎・矢崎数馬

**待合健康教室 (11:30 ~ 12:00)**  
1月19日(木) 「お薬の知識について」  
薬剤師：沖野 伸夫  
2月22日(水) 「冬の食中毒について」  
保健師：真下 美千代

※地域公開行事の詳細はエントランスホールに掲示いたします

## シリーズ 地域交流活動日記

No. 8

### 【防災訓練を実施しました】

数字には、その組み合わせだけで意味を持つ場合があります。「3・11」。決して忘れることのできない未曾有の大災害が、わが国に襲いかかってきた日です。二万数千人が帰らぬ人となり、いまだ数千人が行方不明。地域医療振興協会の女川町地域医療センター（震災当時女川町立病院）も被災し、台東病院を含めて協会全体で支援を行っていたことも記憶に新しいところです。

昨年11月5日、台東病院と日本堤消防署、周辺の大鳥・千和・千吉の三町会との合同防災訓練が行われました。大地震から出火、トリージ訓練までの流れの中で、消防署からはしご車による4階からの救出作業と放水。町会の皆さんには模擬患者として参加していただきました。これだけ大規模な



訓練は、開院以来初めてとなります。震災から半年余りしか経っていないこともあり、非常に緊張感のある訓練となりました。

東日本大震災の影響で、東海地震の起きる可能性もまた高くなったそうです。もし実際に起きれば、台東病院は地域の救命活動の要となります。「地震なんか来ないよ」と思う人もいるでしょう。しかし、奥尻でも阪神でも東北でも地震は起き、多くの人が亡くなりました。地域の人たちを守るために台東病院としてできることを今後も職員一同、訓練を通し、考えんていきたいと思います。





# 医療技術部掲示板

医療技術部とは、医師と協同して医療を行う、検査技師、放射線技師、薬剤師、理学療法士、栄養士などの病院職員(コメディカル)を指します。医療技術部とひと口に言ってもさまざまな分野がありますが、医療現場を支え、患者さんの命を守るという意味では、どの分野も医師とともに大切な役割を果たしています。今回は、医療技術部の職員が普段どのような業務を行っているのかを、一部ですが紹介いたします。

## 検査室

検査室には、4名の常勤職員と、1名の非常勤職員(午前中のみ)がいます。1名は視能訓練士で、眼科検査に従事しています。ほかの4名は臨床検査技師です。一人ひとりの患者さんへの親身な対応を心がけております。

検査室では、外来患者さんの採血を施行し、採取した血液や尿を分析します。また心電図や超音波検査といった生体検査も実施しています。

検査室の取り組みとして、検査でお待ちいただく待合の前に、患者さんに役立つ資料を提供しています。検査値の見方や「この検査は何を調べるのですか?」といった素朴な疑問にもお答えしますので、疑問点がありましたらスタッフに気軽に声をかけてください。

検査によっては検査結果が出るまでにお待たせしてしまうこともあるかと思いますが、よろしくお願いたします。



## 放射線室

放射線室では、胃や大腸のバリウム検査、胸が痛いなどの狭心症症状を検査する心臓CT、内視鏡やバリウムを使わず空気を使って大腸を検査する仮想内視鏡大腸CT、頭の動脈瘤などの血管を検査するMRI、物忘れや認知症の早期発見に有用なMRI(VSRAD)などの多数の検査が可能です。

最新の装置を備え、新しい撮影などにも積極的に取り組んでおりますが、検査を受けられる方に安全・安心な検査を提供することを第一に心掛けております。また、少しでも検査による被曝の低減ができるよう努力しております。

なにかご不明な点がありましたら、遠慮なく放射線室のスタッフにおたずねください。



64列MDCT



1.5T MRI

## 栄養室

### 当院・施設のお食事紹介

こんにちは、栄養室です。前号に引き続き、当院・施設でのイベント食や行事食の様子をご紹介します。

老健千束および通所リハビリにて、8月22日・9月6日・21日に「そばキャラバン」を開催しました。職人を招いてそば打ち実演をご覧いただき、代表で何名かの利用者さんにはそば打ちを体験していただきました。昼食には、二八(にはち)・梅・抹茶・レモンの4種の味の手打ちそばを召し上がっていただきました。



そばキャラバン  
そば打ち体験の様子です。  
真剣な眼差しでお上手でした。

### 今後の行事食予定表

- 1月 お正月、七草粥、鏡開き(老健・通所)
- 2月 節分、建国記念日、バレンタインデー
- 3月 ひな祭り



行事食・敬老の日  
メッセージカードをお付けしました。

## リハビリテーション室

### 訪問リハビリテーション

現在、訪問リハビリテーションは理学療法士2名、作業療法士1名が担当しており、午後の時間帯に訪問しています。訪問を始めてから約10ヵ月経ち、徐々に体制が整ってきたところです。利用者さんの在宅生活をより安全・活発にし、QOL(生活の質)を高めていけるよう、心身機能だけでなく、生活全般を包括的にとらえたサービス提供を目指しています。また、病院や施設での生活から在宅生活へと円滑に移行できるように、リハビリテーションの視点からサポートしています。今後も地域に喜ばれるようなサービスを目指し精進していきますので、応援よろしくお願いたします。興味がある方は見学も受け付けていますので、声をかけてください。



### 言語聴覚士

当院には言語聴覚士(STともいいます)は3名おり、うち2名が病院、1名が病院と老人保健施設の兼務でリハビリテーションをしています。言語聴覚士は国家資格となっており今年で13年目なので、まだご存じでない方もいらっしゃるかもしれません。

対象となる障害は、大きく分けて2つあります。1つは食べたり飲んだりすることの障害、嚥下障害です。食べることができなくなると体にも影響が大きいので、リハビリテーションは重要です。もう1つは失語症や構音障害などの言葉の障害で、主に脳梗塞などが原因で起こります。身体のリハビリテーションに比べると見ても分かりにくいところがありますが、それだけに患者さんのためになるよう心がけてリハビリテーションを行っています。よろしくお願いたします。



## 薬剤室

### 病院薬剤師の仕事

私たちのように病院や診療所に勤務している薬剤師のことを病院薬剤師といいます。ここでは病院薬剤師の仕事の内容について、簡単に紹介いたします。



1. 調剤業務  
処方せんに記載されたお薬(内服薬、外用薬)を調剤します。
  2. 注射薬供給業務  
注射処方せんに記載された注射薬を患者さんごとに取り揃えて病棟などに払い出します。
  3. 医薬品情報提供業務  
患者さんの持参した薬を識別して医師に報告したり、医療従事者に医薬品情報を提供します。
  4. 服薬指導業務  
病棟の患者さんに、服用しているお薬について説明・指導します。
  5. 薬品管理業務  
お薬(内服薬、外用薬、注射薬)の在庫や品質について適正に管理します。
- そのほかにも、お薬に関連する多くの業務に薬剤師がかかわっています。

### おくすり手帳 5つのいいこと

当院では、ほとんどの外来患者さんに院外処方せんを発行しています。この院外処方せんを町の保険調剤薬局に持って行き、お薬を調剤してもらいます。その際に薬局で希望すれば「おくすり手帳」を作ってもらえます。おくすり手帳とは大切なお薬の記録です。おくすり手帳を持っていると次の「5つのいいこと」があります。

1. 医療機関にかかるときは必ず持って行きましょう  
・薬の重複やよくない飲み合わせを未然に防止できます。  
・同じ薬による副作用の再発を防止できます。
2. 言いたいことや伝えたいことを書いておきましょう  
・体調の変化や気になったこと、医師や薬剤師に相談したいことを忘れずに伝えられます。
3. 一般用医薬品(市販薬)・健康食品も記録しておきましょう  
・よくない飲み合わせ・食べ合わせが見つかることがあります。
4. いつも携帯・いつも同じ場所に保管しておきましょう  
・旅行先で病気になったときや災害時に避難したとき、救急のときなど、おくすり手帳があれば、あなたが飲んでいる薬を正確に伝えられます。
5. 一冊にまとめましょう  
・病院ごとや薬局ごとに、別々のおくすり手帳を作らないようにしましょう。飲んでいるすべての薬を「一冊に」記録することができます。